

<https://youtu.be/IeHcKPBLijA>

『決して揺るがされてはいけない』おはようございます。ようこそ。私たちが節ごとに進めている 聖書の学びのライブ配信に 参加してく下さって、嬉しく思います。今日はテサロニケ人への手紙第二です。私たちはこの手紙を読み進めていて、主の御心なら、今日で 2 章を終えます。今日の箇所は、13 節から 17 節までです。まだであれば、聖書をお開きください。お開きになったら、出来ればお立ち下さい。私が読むのについて来てください。難しければ、座ったままでも大丈夫です。使徒パウロはある意味、話の方向を変えて、ここで章の最後でこう言っています。

テサロニケ人への手紙第二 2 章

13 しかし、主に愛されている兄弟たち。私たちはあなたがたのことについて、いつも神に感謝しなければなりません。神が、御霊による聖別と、真理に対する信仰によって、あなたがたを初穂として救いに選ばれたからです。

14 そのために神は、私たちの福音によって あなたがたを召し、私たちの主イエス・キリストの 栄光にあずからせてくださいました。

15 ですから兄弟たち。堅く立って、語ったことばであれ手紙であれ、私たちから学んだ教えをしっかりと守りなさい。

16 どうか、私たちの主イエス・キリストと、私たちの父なる神、すなわち、私たちを愛し、永遠の慰めとすばらしい望みを恵みによって与えて下さった方ご自身が、

17 あなたがたの心を慰め、強めて、あらゆる良いわざとことばに進ませてくださいますように。

わお。共に祈りましょう。主よ、本当にありがとうございます。主よ、私たちは今日、あなたの御言葉の中で一緒に過ごせるこの時間を、あなたに感謝します。主よ、私たちは決して、私たちに与えられているものを当たり前だと思いたくありません。このように、私たちが一緒に集まり、あなたを礼拝し、互いに交わりを持てることを。今、私たちがあなたの御言葉の教えを受ける際、あなたの御言葉の教えに油を注いで下さることを祈ります。主よ、私たちはあなたに、あなたの御言葉を 本当に感謝しています。今、あなただけが出来る方法で私たちの人生に語り、聖霊によって私たちが心を向けて、集中できるようにして下さい。心が、散漫になることがありませんように。あなたが私たちに用意して下さいのものを、何一つ逃したくありません。主よ、お語り下さい。しもべは聞いています。イエスの御名によって、アーメン。ありがとうございます。どうぞお座りください。今日のこの箇所を教えるのを、私は本当に楽しみにしてきました。私がお話したいのは、危機に関して、私が本当に折よく適切なものだと思う事柄です。それは、今の世の中の混沌とした状況に関して、時宜にかなったものです。つまり、イエス・キリストを信じる者として、またキリストに従う者として、私たちが決して揺るがされるべきでないのは何故か、ということです。何故、この世の悪によって、決して心を動かされるべきではないのか。日を追うごとにますます、世の中は悪に染まっていくように思われます。これからお話するのは4つの理由で、それらは、狂気の世界にあって 私たちに正気を保たせてくれるという、非常に必要とされる効果があるはずですが、私がそういう言い方をしたのは... 私だけではないはずですが... 今の状況は狂気じみてないとしたら、何ですか？ 本気ですか？ この話は預言アップデートでしたのですが、ちょっと許してください。皆さん、きっと「キャンセル・カルチャー」（文化の取り消し）について、聞いたことがありますね。彼らはそう呼んでいます。彼らは歴史を取り除いたり、消したりしています。ア

メロカ合衆国の歴史を。3 週間ほど前にこれらの事が起こり始めた時、 私はこう言いました。私は預言者でも、預言者の息子でもありませんが、私はこう言いました。「彼らはどこまで遡るのか？」「彼らは、イエス・キリストと 十字架と復活まで遡るつもりか？」案の定、ちょうど先週のことです。ブラック・ライブズ・マターの 共同創設者の一人だと思んですが、その人がツイッターでつぶやいていました。イエス・キリストの像はすべて 取り除かれる必要があると。なんてったって…！まあ良いでしょう…とにかく…狂気という言葉では到底説明できないほどです。世界は狂ってしまいました！でも、私たちが狂う必要はありません。私たちは、狂った世界の中でも 正気を保つことが出来ます。なので私は、なぜ正気を保てるのか、今日の箇所から 4 つの理由をお話ししたいと思います。1 つ目のこれは、最初はちょっと変な感じがするかもしれません。しかし、13 節です。「神はあなたが好きだ」からです。「『神はあなたを愛している』でしょう、牧師さん？」いいえ、「神はあなたが好き」なんです。「何故そんな言い方をするんですか？」悲しいことに、私たちは、「好き」という言葉が「愛」という言葉よりも、重みがあると思えるような時代に生きています。愛という言葉が損なわれ、冒涇されています。「冒涇された」という意味は、「ありふれたものにされた」という事です。それが冒涇という言葉の意味です。だから、「神はあなたを愛している」と言うと、まとりあえずあ、それって何というか…それには、次のように言うのと同じくらいの インパクトがないんです。「ねえ、神は本当にあなたが好きなんだよ」－「そうなの？」－「そうだよ！」「彼はあなたの SNS 投稿も好きだよ。」だって、要は「いいね（好き）！」ですからね。「神は私のことが好きってこと？」－そうだよ「彼は私に怒ってない？」－怒ってないよ！つまり、神はあなたのことが好きなんです！神はあなたを愛している！それがゆえに、神は決してあなたに何が起こるのも許しません。多くの恐れがあります。もちろん、

「神は私たちに、臆病の霊ではなく、力と愛と慎みの霊を与えてくださいました。」（2テモテ 1:7）

私は自分の性癖を知っています。不安になり始める傾向を知っています。私は時々不安と闘っています。私は皆さんにとっても正直になっています。時には不安が…「ああ、何てこった！こんなことが起こっているなんて！」私は主に思い出させてもらわねばなりません。「何をしているんだ？」と。「わたしはあなたをとっても愛している。」こう考えてみましょう。あなたは自分の子どもをどれほど愛していますか？ああ、私は自分の子供たちを本当に愛しています。「あなたは地上の、墮落した、罪深い父親だ。」「わたしは、愛に満ちた完璧な天の父だ。「あなたが自分に出来る限りで、子供に何が起こるのも許さないというのであれば、なおさらわたしは、どれほどあなたと共にいて、あなたをかくまい、あなたを守り続けるだろうか？」「わたしはあなたを愛しているのだから。」残念ながら、悲しいことに、私たちの心に疑念の種を植える点において 敵はある程度の成功をおさめていると思います。神の私たちへの愛に関して、また、それが私たちにとって何を意味するかに関して。何が起こっていても絶対に揺るがされるべきではない理由の第一位は何だと思いかと聞かれるなら、これでなければならぬでしょう。あなたが今朝ここにるか、もしくはネットで見ていて、サタンがあなたを意のままにしてきたなら…彼があなたを欺いてきて、あなたが偽りの父である彼の嘘を信じてきたなら、ローマ人への手紙 8 章に時間を費やすことを勧めたいと思います。私に言わせれば、神があなたと私に持っておられる愛に関しては、聖書全体の中で最も力強い章の一つです。37 節から 39 節まで読みたいと思います。使徒パウロはローマの教会に手紙を書いていて、こう言っています。

「しかし、これらすべてにおいても、私たちが愛して下さった方によって、私たちは圧倒的な勝利者です。」（ローマ 8:27）

ここが好きです！私たちはただの勝利者ではありません。いいえ、私たちは圧倒的な勝利者（勝利者以上の存在）です。イエーイ！私たち自身ではなく、私たちが愛してくださった方によって！それが理由であり、それが方法です。そして、彼はこう言っています、38節。すごいです…。私がこれを読む際…

皆さんもご存知なのは分かっています。これは大抵の人にとって 馴染みのある聖句であるはずですから。しかし、私が読むときに、皆さんには 次のようなレンズを通して聞き、一緒に黙読して欲しいのです。それは、神の愛に関して、パウロが何でも、考え得る限りのことを すべて網羅しているというレンズです。彼の言うことに耳を傾けてください。彼は「私は確信しています。」と言っています。「間違いない」と。決定はもう下されています。評決は出ている。「私はこう確信している！」パウロさん、何を確信しているんです？…

「死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、」（ローマ 8:38）

「高いところにあるものも、深い所にあるものも、そのほかどんな被造物も、…」

これでほぼ網羅できますね。私はこれを見ていて、…「よし、見てみよう。まあ、これも大丈夫。」「ああ、あれも大丈夫、高さ/深さも大丈夫。」「悪魔、現在、未来…それも含まれてる。」「死、いのち…それも大丈夫。」「その他すべての被造物も…」それが総括しています。

「…私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちが引き離すことはできません。」（ローマ 8:39）

何もあなたを引き離すことはできません。この意味が分かりますか？ここに含まれている意味が分かりますか？これはつまり、私たちに対する神の愛を減らすために、あなたや私ができる事は何もないということです。同じことを別の言い方で言います。同じように、神が私たちのことを あまり好きでなくなるように、あなたや私に出来ることは何もないということ。いいですか、敵はこんな事をやるんです。彼が入ってきます。ちょっと嫌な一週間でした。私は、嫌な一週間ではなかったですよ。そんな目で見ないでください。例えば使っているだけです。「私はまた、しくじってしまった…！」ここに敵がやって来て…「けっ！」とにかく、私にはそうやるんです。あなたにそうするかどうかは知りませんが。「いいや、私が君だったら、今は祈らないよ。」「教会には絶対に行かない。またあんなことをやってしまった後で、冗談だろ？」そうやって非難がきます。「私なら距離を置いておくだらうな。」「神には冷静になってもらうために、数日待ってもらおう。だって、彼は君には我慢の限界だから！」「彼は君にさんざん言っていたのに！」「ああ、彼は今、君に腹を立てているよ。」いいえ、違います。神は腹を立てていません。皆さんは理解せねばなりません。私たちがキリストの元に来る前は、敵は私たちをキリストのもとに来させないためなら、手段を選ばず、どんな事でもします。そして、私たちが一旦、イエス・キリストの救いの知識を得ると、彼は戦略を移行します。今、私たちは救われていて、今や、キリストにあるので…敵は私たちをキリストから遠ざけるために 出来るだけの事を何でもします。では、どうやってやるんでしょうか？彼は入ってきて、あなたの心の中に次のような考えを植え付け始めます。「神は今、君に怒っているようだ。」「君、あんまりよくやってないみたいね？そして、彼はあなたの人生に 罪責感と罪悪感の基盤を構築します。そして、あなたはその圧迫感の中で生き始めます。あなたは彼にしてやられたんです。なぜなら彼は、全てが贖われた場所である 十字架から、あなたを遠ざけておきさえすれば、そうすれば、あなたがその罪責感の中で 生きていることを知っているからです。そして、ほどなくしてあなたは…これは本当に古いストップウォッチですね。今はスマホを使いますね。そのためのア

プリがありますから。スマホアプリで時計、タイマーを押すだけです。あなたが神のあなたへの愛を疑うようになるのは、ただ時間の問題です。それが原因で、突然この距離、この分離が生じてしまうのです。私にとってのリトマス試験は、それが主からのものであると分かるのは、それが私を主に近づけてくれる時です。私を主からさらに遠ざけるものであれば、それは主からではない事が分かります。悪魔がするのはそれです。非難です。それは私を神から遠ざけます。逆に言えば、聖霊は私に罪を示し、私を神に近づけてくれるのです。そして、ヤコブは言っています。私たちが神に近づくと、神もまた私たちに近づいてくださると。(ヤコブ 4:8 参照)

しかし、サタンは、神の愛の究極の表現である十字架から私たちを遠ざけるために、あらゆる手を尽くします。なぜなら、

「人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。」 (ヨハネ 15:13)

2 番目の理由に進む前に、最後に言いたいことがあります。これはとても重要なことです。見逃さないで下さい。世の中で起きていることを見ると、とても不安になります。しかし、神は…あなたは、この一つの非常にシンプルでありながら、強力で深い真理を思い出さねばなりません。神のあなたへの愛は、あなたの頭の毛の一本も 地面に落ちることを許さないほどのものです。私の場合は、神はたくさんの髪が落ちるのを許されましたけど。冗談を言ってすみませんが、このネタ、使わせてもらってるんです。私は長く生きてきたから…なので、新しい体が待ち遠しいですね。私はもう注文してあります。今の私とは違いますよ。でかいアフロになりますから。念のために言うておきます。実際、私が子どもの頃は、でっかいアフロだったんですが。もしかしたらそれが…、とにかく、話が逸れました。私の問題はもういいですね。ここで要点を逃さないで下さいね。あなたが、どれほど神に愛されているかに気づく時…こんなにも愛されてるなら…？ 本気ですか？何も起こったりしません。神はいつも私と共にいてくれます。

「見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」 (マタイ 28:20)

ちなみにそれは、単に近さに関する約束ではありません。それは預言的な約束です。地の果てまで、時代の果てまで、世の終わりまで、神は最後まで私と一緒にいてくださる。ここに、私が主に尋ねたことのある質問があります。神は、神の愛のゆえに、それに答えて下さいました。何もかもその愛から私を引き離す事は出来ません。これが私の質問です。「主よ、私は昨日、携拳が起きて欲しかったです。」「もし携拳が起これば、時間ももっとあり、状況がもっと悪化したら？」それは可能性のある事です。「それは私には、少し怖いです。」皆さんもですよ？というわけで、これが主からの答えです。「ああ、でも JD、あなたは何も心配することはない。私はあなたをととても愛しているから。」「どんなことが起こっても、私があなたを乗り越えさせよう。」「ああ、でも本当にひどくなったら どうするんです？」いや、いや…私には言わねばならない事があります…言わなくてもいいんですが、言います。2週間前にも言ったのですが…もしかしたら先週だったかもしれません…。私にはこのような発言が聞こえてきています。「ああ、そんなこと絶対に起こらないよ。」あるいは、「〇〇がそんな事は絶対にさせないだろう。」誰のことかお分かりだと思います。本当に？ 待ってください。私には御座に座っている神の姿が見えるようです。「もしもし？」「わたしのことは？」「わたしはあなたに、そんな事が起こるのを許さないよ。」「わたしはあなたを本当に愛している。」「わたしはいつもあなたと一緒にいる。」「わたしはいつもあなたを守る。わたしはいつも…」これはどうですか。「わたしはいつもあなたを養う。」

今日、あらゆることが起こった後で、今のような発言を私がしたら…？ 私は、解雇された人の数を熟知しています。彼らはこれ（請求書?）を見て、「どうやって支払いすればいいんだ。」「どうやって生きていけばいいのか分からない。」「どうやって乗り越えるのか？」いや、いや、違います。待って下さい。神はあなたを愛しています。あなたは彼のものです。主の子らは決して食べ物を乞うことはない。（詩篇 37:25 参照）神はいつもあなたを養って下さいます！それは約束です。ちなみに条件付きの約束ではありません。私の子どもたちは…彼らは私の子どもだから、権利を有して…使うべきではなかったヒドイ言葉ですね。彼らは私の子どもであるから、恩恵を受けるんです。私が彼らの父であるが故に。権利を有するという言葉を使うべきではありませんでした。大仰な言葉ですね…ところで、私たちはすごく特権意識を持っています。彼らがですが…それはまた別の機会に別の説教で。そういう言い方をしてもいいでしょうね。神の子として、神の民として、私たちにはこの約束があります。私たちはそういう意味では、権利を有しています。神はいつも…これは適切な英語ではないことは分かっています。メールしないで下さい。それだけでなくたくさんメールをもらいますから。しかし、神はせずには済まされないのです。二重否定なのは分かっています。彼は せずにはられない。それは、神の本質、神の性質、神の性格と一致しないのです。そして神の愛のゆえに。それが、パウロが彼らに言っていることです。パウロが彼らを励まそうとしている事を 忘れないで下さい。そして、パウロは彼らに向かって言っていて…それは今日私たちが読んだ、私たちの前にある、聖書箇所を満たしています。何度も繰り返して。あなたがたへの神の愛、あなたがたへの神の愛、あなたがたへの神の愛…

2 番目の理由です。14 節にあります。それは「神があなたを召した」から。人生における神の召しについて話すとき、最初は当たり前のことを言っているように 聞こえるかもしれないのは分かっていますが…（物音…）いったい何があったんだ？ はい、主よ、お語り下さい。しもべは…何か落ちました？

わかりました、まあ…うーん。召しを受けるという事には、実は深い意味があります。これは単純化し過ぎているように聞こえたり、思えたりするかもしれない事は承知していますが、例えて説明すると、"神があなたを呼んでいる" 感じですか。このように考えてみてください。誰か重要な人物から電話がかかってきたとします。あなたは、わぁーという感じですね。「誰が僕に電話してきたか知ってる？」「ううん、誰？」「〇〇だよ。」—おおお！それで、私が登場して、「そんなの大したことない。私には誰から電話がきたか知ってるかい？」神だぞ！！どんなもんだい！ま、例えばの話です。神はあなたを呼ばれたんです。神はあなたを召したのです。そしてあなたが電話に出ると、それは招待です。何の招待？それは、イエス・キリストの永遠の栄光を分かち合うための招待です。それは取りたい電話です。その電話は私が…。もうこの身振りも使えませんね。スマホですから。その電話には、私は出ます。そして私は返事(RSVP)をします。言い換えれば、私たちは神からの この召しを受ける者の中に選ばれたのです。私たちは応答(RSVP)をします。それがすべてを変えるのです。パウロがピリピの教会に言ったことを聞いてください。ピリピ人への手紙 3 章 13~14 節には、こう書かれています。

ピリピ人への手紙 3 章

13 兄弟たち。私は、自分がすでに捕らえた などと考えてはしません。ただ一つのこと、すなわち、うしろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、進み続ける

14 節で言います。

14 キリスト・イエスにあって神が（聞いて下さい）上に召して下さるという、その賞をいただくために、目標を目指して走っているのです。

私の人生には召しがあります。私は召されているんです。私が召されているのは、その事のためです。その召しは、そういうことなんです。それは神からの呼びかけ（召し）です。天への。このように言わせてください。天国を楽しみに出来ることを知ると、あなたが経験しているどんな事も乗り越えやすくなります。パウロが言っているのはそういう事です。ピリピの信徒に手紙を書いている時に、彼が言っているのは、...実はこれが、過去を忘れるための秘訣なのです。時々...いやはや！敵は絶えずポップ

コーンを作りながら、私たちの過去をライブ配信しています...「ほら、見ろよ、」と。後ろのものを忘れなさい。（ピリピ 3:13 参照）過去のことは忘れる。「どうやって前を目指せるのか？」過去を忘れることで。「どうやって過去を忘れるのか？」前を目指すことで。先を見て。先に何があるのか？キリスト・イエスにあって待ち受ける永遠の栄光です。イエス・キリストにある永遠の栄光。イザヤの言葉を思い出します。

「志の堅固な者を、あなたは全き平安のうち守られます。」（イザヤ書 26:3）

私はその一節が大好きです。韻も踏んでいるし、誰か曲を作ってくれないかな。名曲のいくつかは、基本的には聖書の御言葉です。つまり、彼の言っていることは、こうです。喜びに満ち溢れ、幸せで、人生が充実している人を見せてくれたら、その目が主を見ている人を、お見せしましょう。世界で起きている事だけを見てはいません。何年も前、アメリカ本土に住んでいた頃、私たちはオレゴン州のキャノンビーチまでよく車で行ってました。キリスト教会の会議場に泊まっていたのですが、これはもう何年も前の話です。これは BC です。キリスト以前（紀元前）ではありません。子供が生まれる前 (Before Children)。そういうのが可能だった時。ワシントンのスポケーンからドライブして... 素敵な道のりです。私たちはビーチに滞在しましたが、そこには有名なヘイスタック・ロックがありました。雄大な岩で、潮の満ち引きによって、そこに.....ちょっと先走ってしまいましたが、ちょうどそこにあるんです。浜

辺に座ってその岩を見ていると、波が当たって砕けて、そして、その周りには潮が渦巻いている。でも、よく見ると、鳥たちが見えます。彼らはただ創造主に向かって歌っていて、下で砕け散る波には無関心です。なぜ？それは、彼らが神を見ているからです。それは実は私たちの3番目の理由で、15節にありますが、「神があなたを堅く立たせる」からです。ここでパウロは、ここまで書いてきた事が、なぜ私たちが決して揺るがされるべきでないか、何があっても心動かされるべきでないか、その説得力のある理由だと言っています。どうやって？私たちは堅く立ち、しっかりと守る事ができます。つまり、こんな風に...説教壇に隠れてしまっ見えませんか。ところでオンラインの皆さん。はっきりさせたい事があります。私の身長は6フィート（183cm）で、ちょっとずつ縮んでます。なぜこう言うかと言うと、訪問して下さる方がいますよね。（可能だった頃の話ですが...）隔離の前、密告されて5千ドルの罰金を課せられる前です。いや...とにかく、そんな話ではなかったんですが...長期滞在の予定がない限り、今、

ハワイに来るのはやめましょう。人々が来られていた時、「思ったより背が高いですね」って言われてたんです。本当に？で、私が気がついたのは説教壇が...第一には、カメラの角度を変えたんです。私は出来る限りの事をして...後ろのスタッフは、天に宝を積んでます。彼らは、私の姿を 実際よりも良く

見せてくれますが、説教壇がちょっと高くして...とにかく、私は背が低くないんです。誰もがチビだと思っています。今のは本当に... 私は実際に、そこから言いたい事があるんです。もし私がこのように立ったら、... 言っておきますが、依然6フィートの身長で、縮み中です。しかし、私は、堅く立っています。もしこんな風に立ってたら叩きのめされてもおかしくありません。堅く立っていません。私は足をしっかりと固めて、立っています。よし、さあ掛かってこい。楽しませてくれ。私は固く立っている

から。お前には私を動かさない。私は固く立っているから。そして、私はしっかり守っています！あなたは何の上に固く立ち、何をしっかり守っているのか？ 神の御言葉と、みことばの神です。あなたは私を動かさない、私は岩のように堅固だから。私はその岩の上にいる。打ちつける波がどうであろうと関係ない。どんなに波が打とうとも気にならない。私は岩の上にいるから。マタイの福音書7章にイエスが教えているたとえがあります。非常に興味深いたとえです。「家を建てる者」として知ってますよね？ 家を建てる者が二人いました。たくさん共通点があったようです。二人は同時に家を建てています。彼らは同時に建築許可を得たに違いありません。なんでそれを持ち出したんでしょう。この教会の建築許可を得るのに1年かかったんです。とにかく、それで彼らは許可を取って、二人で同時に家を建てているんですね。二人とも同じ教会に通っていたようです。なぜなら、二人ともイエス・キリストの言葉を聞いていたからです。でも類似点はそこまでです。家を建てる者が二人います。二人とも建てています。しかし、一方は砂の上に建て、他方は岩の上に建てたという違いがあります。「もし嵐が来たら」ではなく、「嵐が来る時」に砂の上の家は崩れ落ちて、それはひどい崩れ方でした。でも、岩の上に建てた人は違う。さて、岩の上に建てた人と砂の上に建てた人の違いは何だったのでしょうか？ イエスはその質問に答えています。岩の上に建てた者は、イエスの御言葉を実践しました。二人とも主の言葉を聞いたのです。でも、聞くだけではダメなんです。ヤコブは、あなたはみことばを聞くだけの者となって、行なわない者になる事もあると言っています。（ヤコブ 1:22 参照）

必ず起こる嵐が襲って来た時に、崩れ落ちなかったのは、御言葉を実践した人です。彼は御言葉を行なう者でした。彼はそれを聞いただけでなく、それを実行し、適用し、それによって生きました。それが違いだった。このようにして、私たちは岩の上に固く立ち、神の御言葉である揺るぎない基盤を固守するのです。ここが大事です。愛を込めて言いたいので.... どうか、私の心を知ってください。誰を責める

つもりもありません。私は自分を責めましょう。自分を例に出してみます。私が一番弱々しくて、最も無防備なのは、私が神の御言葉に浸る事のない期間が続いた時です。やれやれ。私は敵の「いいカモ（格好の標的）」です。敵もそれを知っています。彼は歩き回っていますから。彼はとても忍耐強く、私たちをこっそり追い回しています。攻撃に最適な機会をうかがって。皆さんも聞いた事があるでしょう。気の利いた、機知に富む表現ですが、「祈らない一週間（one week）は人を弱くする（one weak）。」ちょっと時間を差上げます。一週間（week）、七日間、祈りも御言葉もないと、人は弱くなります。W・E・A・K「分かった」と言って下さい。それ以上うまく言えませんから。...信仰はどのようにして来るのでしょうか？ それは、聞くことから始まり、神のみことばを聞くことによります。（ローマ 10:17 参照）そして、神の御言葉を実践し、御言葉を実行することによります。ヤコブは言っています。

「みことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は自分の生まれつきの顔を鏡で眺める人のようです。」（ヤコブ 1:23）

神の言葉と律法による完璧な鏡です。それは私たちに自分の真の姿を見せます。それは... 私はこの御言葉を通して....鏡を見ているような感覚になるんですね、うわぁ～私は、神が見ているように自分を見るのですが、それは美しいものじゃない。朝、鏡に映った自分を見て私は何をするのでしょうか？ まあ、まず第一に言うのは、「主よ、早く来てください」.....というのは.....あぁ.....息子がスマホで私の写真を撮ってくれたのですが、彼がそれを見せてくれ、私は、「止めてくれ！」と、思いました。うわぁ、主イエス様、早く来てください！という事で、とにかくだから鏡に映る自分を見ると、私は「よし、これはどうにかしないとイケない」と思うのです。ご婦人方は化粧ができます。我々には、それは出来

ません。髪の毛も何とかしないとイケないし、年を取ると…生々しくなるのは嫌だけど、不公平ですよ。毛が、生えてはイケない所に生えてきて、以前は生えていた所には生えません。どういうことでしょうね。鏡の中の自分を見ると、「どうにかしないとイケない！」と言います。「その髪を」「歯を磨かないと。」「あのブサイクな顔を剃らないと。」私が見ているものを どうにかしないとイケない。ヤコブが言っているのはそういう事なのです。ただ御言葉を聞くだけの人は、御言葉を聞いて、鏡を見ても何もしないで立ち去る男と同じです。ところで、今朝ここに来る前に皆さんが鏡を見てから やってくれたことに、本当に感謝します。皆さん、素敵です。そこがポイントなのです。使徒の働き 20 章 22 節から 24 節。私はこれがとても好きです。もし皆さんも私みたいでしたら... そうだと思いますが、使徒パウロのことが本当によく分かってきたでしょう。私たちは何年も前に、使徒の働きを学びました。一節一節、使徒の働きを学ぶのに、2年近くかかったと思います。改めて、20 章の 22 節から 24 節を読みたいと思います。背景を説明します。パウロは警告されていました。実際、エルサレムに行ったら逮捕され、投獄されると預言されていました。パウロは、「まあ、それならそれまでの事だ」と言った感じでした。では、彼の言うことを聞いて下さい。

使徒の働き 20 章

22 ご覧なさい。私は今、御霊に縛られてエルサレムに行きます。そこで私にどんなことが起こるのか、分かりません。

23 ただ、聖霊がどの町でも 私に証しして言われるのは、鎖と苦しみが私を待っているということです。

しかし...24 節、私はここに下線を引いてあります。"これらはどれも私の心を動かすものではない" (But none of these things move me, -欽定訳-) (*邦訳聖書に該当語句なし) 私は動揺してない。心動かされていない。たじろいでいない。ウォ、パウロさん、その秘訣はなに？ 聞いてくれて大変嬉しいです。「私のいのちは少しも惜しいとは思わない」からです。この世で自分の命を失ったら、あなたを動かすものは何もありません。この世や、この世のものごとにしがみつすぎていると、起こる事すべてによって、深い影響を受けることとなります。簡単に揺さぶられてしまいます。しかし、自分の権利を放棄し、自分を切り離し、自分自身とこの世の物事に死んでしまったら、世の中で何が起ころうと、それはあなたを動じさせません。彼は言います。

24 けれども、私が自分の走るべき道のりを走り尽くし、主イエスから受けた、神の恵みの福音を証しする任務を全うできるなら、自分のいのちは少しも惜しいとは思いません。

要約してもいいですか？ ここでパウロが言っていることを言い換えてみましょう。「上等だぜ、かかってきな！」そう言っているんです。「かかってこい！」私はすでに、自分に死んでいる、この世界ではすでに、いのちを失っている。私は自分の命は少しも惜しくない。私には大事じゃない。私にとって大切なのは、私に対する神の召しと、神の恵みの福音の証しです。最後の理由は、16 節と 17 節に出てきます。それは、「神が私たちを励ましてくれる」からです。その中でも...私は、「励まし」についてだけで 説教をすることが出来ます。よくお分かりでしょうが...これは大きな主題です。なぜなら、私たちは.. 私だけでないのは分かっています。私たちは、容易に落胆しがちです。同意されますか？ 特に私たちの生きている今の時代には..... とても簡単に落胆してしまいますよね。そして危険なのは、その落胆が絶望

に変わる時です。オズワルド・チェンバースの言葉が好きなのですが「神は決して人が絶望している事を咎めることはない。」使徒パウロさえも、生きる望みさえ失った、と書かれています。(2 コリント 1:8 参照) 彼は人生のそういう域に達しました。聖書全体を通して、彼には同じような仲間がいます。

聖書の中で神に大きく用いられた男性や 女性たちでさえも、生きる望みを失いました。ヨブのことを考えてみましょう。ヨブ。生きる望みを失う理由のある男とは、まさに彼のことでしょう。ヨブは、自分の命を取り去ってくれるよう、神に願いさえしました。エリヤも同じです。カルメル山で、バアルの偽預言者たちと戦った後で、そしてあの奇跡的な驚くべき勝利の後に、圧倒的な勝利者とは彼の事でしょう。そして彼はイゼベルが彼の殺害を命じたと 耳にします。そこで彼は急いで逃げます。そして、神が自分の命を奪うことを望んだのです。...ヨシュアのことを考えるのですが.... 何という男でしょう！ 皆

さんは、モーセの後継者になりたいと思いますか？ つまり... 「ヨシュア、あなたは選ばれた。」 「勘弁してくれ! ダメだ! やめて!」 だからヨシュア記第1章で神は、「強くあれ、雄々しくあれ。」と言っているのです。なぜ、神は何度も何回もそう言うのでしょうか？ 数えてみてください。私は何回だったか忘れてしまいました。「強くあれ、雄々しくあれ。」なぜですか？ なぜなら、ヨシュアは強くもなく、勇気もなかったからです 後釜として、高い期待に答えねばなりません。彼は非常に落胆していました。彼はとても弱く、無力だと感じていました。ちなみにそれは良いことです。なぜなら神は、強い者はずかしめるために、この世の弱い者を選ばれますからね？（1コリント 1:27 参照）神がそうするのは、神だけが栄光を得るためです。だから神は、知恵ある者はずかしめるために、この世の愚かな者を選ぶのです。（1コリント 1:27 参照）神だけが栄光を得るために。神の御前でだれをも誇らせないために。（1コリント 1:29 参照）

では、励ましの話をしましょう。ここでパウロが言っていることの重要性は 強調し切ることができないと思いますが、彼は事実上、「勇気を出しなさい」と言っていて、彼は実際、祈っているのです。神が彼らの心を励まし、強くしてくれるようにと。そして注目してください。具体的なんです。「...永遠の励ましをもって」そこが重要です。何故か？ なぜなら、それは私を勇気づけるからです。これで終わりではないことを知って。これは、最終目的地ではありません。というのも、これで終わりなら... こんな程度なら...高校の時、「高校時代は人生で最高の時期だ」と いつも言われていたのを覚えています。私の反応は、「マジで？ これだけ？」ここまで！ ここから先は下り坂だ！これが最高で、.....とにかく、言って

おきますが、私の高校時代は良い経験ではありませんでした。教師の子だったのですが、いつも問題を起こし、停学になったり退学になりそうになったり していました。かろうじて卒業できました。そして、ついに卒業を迎えた時に 私が思いついたのが...卒業生の標語がありますよね？ 自慢にはならないんですが...神が知恵ある者はずかしめるために、愚か者を選ばれる例を示しているだけなんです。私が標語を提案したのですが...。「見果てぬ夢」とか、あるでしょう？...素晴らしいインスピレーション...

私が提案した卒業生の標語は、"We've COME out of our COMA to receive our DIPLOMA." "卒業証書を受け取るために昏睡から覚めた" (*カム...コーマ...ディプロマの言葉遊び)あなたの牧師は、神が知恵ある者はずかしめるために選んだ 愚か者だということを知っておいて下さい。もう探す必要はありませんよ。私がそのモデルです。とにかく、説教に戻ります。私は、非常に核心を突く 指摘をしていました。しかしパウロは、神が、永遠の希望をもって 彼らの心を励まし、強めてくださるようにと 祈っているのです。テサロニケの信徒よ、聞きなさい。この教会の皆さん、聞きなさい。オンラインの皆さん、聞きなさい。これで終わりではありません。こう言われるのを、皆さんも聞いた事があるでしょう。「クリスチャンにとっては、これが私たちが知りうる限りの地獄だ。」逆もまた然りです。非キリスト教徒にとっては、これが、彼らが知りうる限りの天国なのです。なんだか少し、ハッとさせられますよね。あなたは座って、ネットで視ながら、「特に最近は本当に落胆している」と言ってるかもしれませんね。

何もかもが崩壊している。底が抜けてしまっている。ただ、もう....私はあなたを励ましたいんですが、クリスチャンお決まりの使い古された言い方ではなくて.....このように励ましたいと思います。神の御言葉の権威と神の愛において、あなたがたを励まして、言いたいと思います。あなたには栄光が待っているのですから、落胆する理由は何もありません。もう直ぐです。パウロは言いました。

「今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光と比べれば、取るに足らないと私は考えます。」（ローマ 8:18）

つまり、この地上での私たちの人生が何だと言うのでしょうか？ 70 歳、80 歳、90 歳まで生きるとしても...永遠と比べたら、それは何でしょう？ 比較できません。私たちは時間の外にあり、永遠に存在しています。時間という測りはありません。確かに、私たちの人生は困難で、試練と苦悩と痛みで満ちています。そんな 90 年間かもしれません。永遠のことを考えれば、それでもやはり価値があります。一兆年...就活の面接に行くと、5 年後の自分はどうなっていると思いますか、というような質問をされます。ああ、そんな質問をされたら、たまらないですね。5 年後の自分はどこにいるんだろう？ 私は今年 58 歳になります。今から 5 年後？ すべての事が起こっているペースを考えれば、私は 5 年後、栄光に浸っている自分を見ます。まあ、考えてみてください。それはそんなに長くはないですね。じゃあ、10 年後は？ それでもそんなに長くはないです。じゃあ、20 年後では？ 皆さん、自分でお分かりですね。30 年は？ と、言ってる方。いいですよ、30 年後。永遠に比べれば、それでもまだそんなに長くはない。勇気を出して。勇気を出して、心が強められますように。神が、私の人生で用いてくださった聖句を紹介して終わりにしたいと思います。詩篇 27 篇 13 節、14 節は私にとって、本当に人生句となりました。長年の間私の人生で、具体的に 3 つの時期があって、神がこれを私に示して下さい、これを思い出させて下さり、とても暗い時期を乗り越えさせて下さいました。一度は、本土で、大変な思いをしていました。2 度目は、娘のノエルが亡くなった時でした。3 度目は、この建物の改装完了後の ちょっと最近の話です。ダビデの詩篇です。神のみこころにかなう心を持った ダビデの心を垣間見ることが出来ます。彼はとても正直に言っているのです、注意して聞いてください。

詩篇 27:13"私は失望していただろう"

-欽定訳-（*邦訳聖書に該当表現なし）あと少しだった....

「もしも私が生ける者の地で主のいつくしみを見ると信じていなかったなら——」

そしてこれを言って後、彼は自分に語り掛けます。独り言とは違います。これは自分に語るんです。違いを説明します。独り言というのは自分が自分に語ることです。「お前、バカでアホだな...」いつも私が自分に言っていることです。独り言には気をつけないとね。自分自身に耳を傾け、自分の頭の中で生きている。それが独り言です。でも、たまには自分との対話も必要です。「座れ、小僧、話があるんだ。」そして自分自身に語ります。詩篇 42 篇と 43 篇のように。ある人はそれらは実は一つの篇であると考えています。私たちの聖書では、二つの篇。ダビデが一度ならずも「わが魂よ」と言います。彼は自分に語り掛けています。「なぜそんなに落ち込んでいるのか？ なぜそんなに落胆しているのか？なんでそんなに絶望してるんだ？ あなたは再び主を賛美する理由を持つことになるから。」それがダビデがここでしている事です。彼の言葉に耳を傾けて下さい。「待ち望め主を。」「雄々しくあれ。心を強くせよ。」そして、二度目、自分に向かって言います。「待ち望め主を。」よろしければ、また要約したいと思います。2 語で。実際は 4 語です。今数えました。ただ待ってて。分かるから。(Just wait; You'll see.)4 語ですよ？ ええ、4 語です。ただ待ってて。分かるから。(Just wait; You'll see.)そのように言ったり聞いた

りしたことがありますか？ ただ待ってて。分かるから。彼はそう言っているんです。もうホントにあと少しのところだった。私は失望して、ギブアップ寸前だった。もうこれまでだ！そこまで来てしまった。そして私が気付いて、思い出して、信じた時だった。ちょっと待って、神は慈しみ深い。私は神に愛されている。そして私は神を見る。ローマ人への手紙 8:28、私たちはこの節を好んで引用します。神がどうやってなさるのか、神がいつなさるのか、神がどのようになさるのかは分かりませんが、私は信仰によって、神がやって下さることは知っています。神は何をされるのか。神はこれを働かせて、益として下さいます。私は良いものを見ることになる。ただ待ってて。分かるから。「ええ、でも本当にひどいんです。」 わかってます。ただ待ってて。分かるから。私たちの問題が何か、分かりますか？その「ただ待つ」の部分が 好きじゃないのです。見たいのです。しかし、それは信仰の正反対じゃないですか？ 見るところによって歩きたい。私のうちにあるすべての者が…百聞は一見にしかずと言います。御言葉は何と言っているか、ご存知ですか？ 信じることは、見ることです。私は、見るであろうと 信じてきた。信じるとは、信仰の目を通して、信仰によって見ることです。神様、あなたがどうやってこれをなさるのか、 私には分かりませんよ。待つしかないでしょう。 待ち切れません。でも、あなたがこれをどうされるのか、見るのが待ち切れません。これは難しいから。そして、まるで神がこう言うかのようです。「今、本気で言ったのか？」 はい。「ああ、見ていなさい！」 「見ていなさい！」 「見て悟りなさい。」 「主の救いを見なさい。」 「どいて！」 「後に下がっていた方が 良いかもしれない。」 「わたしが何をするか見なさい。」 「待つって言ったね？」 「あなたはわたしのいつくしみを見る と信じていると？ホォ～～」 「良い答えだ、正解！」 「さあ、わたしが何をするか、見ていなさい。」

逆方向から話して終わりにします。これが今日の最後の最後です。すでに終わると言っていたので…

「信仰がなければ、神に喜ばれることは出来ません」と、ヘブル書に書かれています。(ヘブル 11:6)裏返して言えば、私たちが信仰を持っているならば、それは本当に神を喜ばせるに違いない、ということ。福音書の中で私を驚かせるのは、イエスが誰かの信仰に注目する時です。イエスは指摘します。教えるのに良い機会です。「そんな信仰を見たことがありません」と。そして、その反対の時もそうです。故郷に行くと、

「預言者は自分の故郷では尊ばれない」。(ヨハネ 4:44)

彼はそこでは、多くのことを出来ませんでした。実際、殆ど何も出来ませんでした。なぜ？ 彼らの不信仰のせいです。彼らには、信仰がありませんでした。よく考えてください。一緒に考えてみて下さい。信仰が主を喜ばせ、私が信仰を働かせる(exercise)なら… 私はその言葉(エクササイズ)が好きではありませんが…妻は運動(エクササイズ)が大好きです。天国で運動はないと思います。それは間違いないで

しょう。脱線しましたが、もし私たちが信仰を働かせるならば、それは神を非常に喜ばせるものであり、神は応えて下さいます。神はその信仰をとて喜ばれるからです。そして、神が応じられると、主には、何一つできないことはありません。私は、特権としてあなたの前に立って、証言することが出来ます。私は神が私の人生の中で、不可能を可能とすることを 何年にもわたって見てきました。それは私が偉大な信仰を持っているからだ、と言っているのではありません。時には私は、「あり得ない」と思ったりもしました。こんな感じです。神：「今、あり得ない！って言ったかい？」 私：「はい。あり得ません。」神は言われます。「あり得る。」わたしを見ていなさい。わたしが何をするかを見なさい。わたしが大きな事をするのを信じなさい。こんなに大きな神がいらっしゃるのに、私たちは小さく祈りすぎてしまうことがあると思います。私が考えるのは、イエスが…怒ってではなくて…イエスが弟子たちに 厳し

い口調で接したとは思えません。むしろ、哀れんで同情されました。なぜそんなに信仰が薄いのかと、哀れまれた。あなたの神はこんなに大きいのに。なぜ疑うのか？もし、あなたがただ信じたならば！わたしには出来ると思じる、それだけいいのです。あなたの置かれている状況は分かりませんが、しかし、私が証言できるのは、神にはお出来になる事です。神をただあなたにご自分を信じて欲しいのです。神を信頼してください。信仰を持って。こう言えばいいんです。神様、あなたがどうやってなさるつもりか私には分かりませんが、でも、あなたは神です！よかった。あなたは不可能の神です。私が見ると…「これは無理だ。」それに対し、神の声が聞こえてくるようです…。私は自分の人生で経験したことがあるのですが、それはまるで神が「JD、やっただね」と言っている感じです。なぜなら、時に、私に可能な時は神には不可能なんです。私が自分でやろうとするから。そしてついに限界が来て、降参して「神様、私にはもう無理です」と言います。今さらかい！「じゃあ、わたしがやってもいいかな？」はい。不可能です。「わたしには不可能な事ができるよ。」神がそのためのだけに限界に来ることを許しているのではないかと思うことがあります。神はただ愛を持って、辛抱強く待っていて、私たちはただ自分を鞭打ち、自分自身を打ち、肉のエネルギーで頑張っていて、それを理解しようとし、解決しようとし、神がこう言われるようです。「終わったら教えてくれ。」「わたしは準備万端でここで待ってるから。」あなたが神のもとに来て、「神様、無理です」と言うと、神は、「わたしにはできる。やらせてくれるかな？」ちなみに、それが3ステッププログラムです。ステップ1自分ではできないことに気づく。

ステップ2 神にはできることを知る、
そして、ステップ3 神にさせていただく。
神にさせていただく。

お立ち下さい。祈ります。父なる神様、感謝します。主よ、本当にありがとうございます。主よ、あなたが今日のこの教えを、あなただけに可能な方法で、聖霊によって、その落胆した心、疲れた魂に合わせて微調整して下さい。祈ります。主よ、あなたが弟子たちに言われたことを思い出します。

「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」 (マタイ 11:28)

「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」 (マタイ 11:30)

主よ、だれでも、そこに到達した人のために、ただ祈ります。彼らは自分の限界に達し、芯まで揺さぶられています。しかし、もうそうである必要はありません。あなたが彼らをしっかりと立たせ、励まし、強めてくださるよう祈ります。感謝します。イエス様の御名において、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7